

第 50 回 丹沢大山

第 1 支部 (株) 乾商会
理事 乾 洋介

【ハイキング編】

8 時 40 分に小田急線伊勢原駅に集合しての長い一日の始まりです。日頃の教育と言いますか訓練が行き届いておりまして、誰も遅刻を致しません。(遅刻すると罰金を払う掟が利いています) 大山ケーブル行きのバスに乗り、終点から参道をえっちら登ってケーブル駅に到着です。

本来であればハイキング同好会は文明の利器は使わずに、歩くのが基本なのですが今回は下山後に打ち上げ、兼忘年会、兼 50 回記念式典と過密スケジュールになっています関係で特別に利用のお許しを出した次第です。次回は伊勢原の駅から歩くか走るのも良いかと思えます。

日 時 : 平成 22 年 12 月 23 日 (祝日)
目的地 : 丹沢 大山 (1,252m)
歩 程 : 約 3 時間
天 候 : 快晴無風

今回の参加者は代表幹事の礒部さん、海老名さん、小川さん、宮本さん、松下さん、浜田さん、若林さん、大根田さん、事務局長の山本さん、不肖私乾の 10 名です。

ケーブルを降り、大山阿夫利神社に安全祈願をして出発です。直後に長くて急な石段が待ち構えており男坂ルートと言います。ここで礒部さん以下数名の方が女坂と言われる緩やかなルートを選択しましたので、二手に分かれて途中で合流することにしました。

女好きだから女坂を選んだわけではないと思います。逆に男好き故の男坂選択でもありません。私を先頭にいつもよりもゆっくり目のペースで登りましたが、あとから海老名さんに速いと怒られました。合流点に女好き組、いや女坂組がいませんでしたのでいつもの様に待たずに先に行くことにしました。大山の登山道は修験者の登る道であり、石段有り、急坂有り、短い割にはとっても疲れるルートです。途中で休憩を取ったり取らなかったりしながら山頂に到着です。天気も良く、空気も澄んでおり、建設中のスカイツリーもはっきり視界に入りました。

男坂組は着いたらすぐに時代劇の山賊の様に車座になって乾杯です。ワイン有り、ウイスキー有り、なかなかリッチです。大根田さんから預った(本人が持つと山頂に着くのが遅れますので私が背負います) 手作りスモークが絶品のツマミになります。大根田さんに感謝。そのうちに 20 分程遅れて女坂組、いや女好き組が到着しました。

磯部さんの到着です。理事長ですから牢名主席にご案内して再び乾杯です。キッチンボーイも兼ねます磯部さんはコンロでお茶を沸かしてくれます。過去に一度だけお茶の葉を忘れて白湯を飲みましたが今回はだいじょうぶでした。横のテーブルで先に休憩していた、成人式を3回ほど迎えた数人の女性ハイカーに若林さんが物好きにナンパをしていました。

我々の行動を見ていた彼女曰く「女性同士のグループだと先に着いた人が、全員を待たずに飲んだり食べたり始めると、どえらく大変なことになる！」と仰っていました。我々の同好会はその点とても紳士で和やかです。ともあれ降りてからの宴会の時間もありますので山頂を後に下山しました。時々立ち止まって遅れている人を待ち、その人が着くと直にスタートする最速出発方式です。再びケーブルカーを利用して本日の会場《とうふ料理 小川屋》に到着しました。

宴会編に続く

【宴会編】

ここから本日のメインイベントになります。所要の為登山が出来なかった（避けたわけでは無さそうです）内田さんと石倉さんが既に会場に着いていました。これで12名全員揃いました。当然ですが先に飲むようなことはありません。全員そろいのを待っています。山の上と下ではルールが違います。

恒例の打ち上げと忘年会と50回記念を合わせた宴会ですから乾杯前から全員気合十分です。不肖私の乾杯の音頭で宴はスタート致しました。“スピーチは短く、飲むのは長く”いつもの通りです。

今回諸事情で直前にキャンセルされた常連の原さんご夫婦、森山さん木原さんがいらっしやらないのがとても残念でした。又、所要で今回参加できなかった秦さん、森さんも残念でした。とはいえ全員参加していましたら考えただけで恐ろしい感じが致します。

この大山のふもとは大山講の宿坊が多く、また豆腐料理の店も数多く有ります。今回選んだ《小川屋》さんはこの辺りでは有名なお店で、中の座敷も広くてとても清潔感のあるお店です。豆腐料理も単調にならず良く工夫してあります。今回はコース料理の中にこの店の人気メニュー“豆腐グラタン”を付けていただきました。もう一度来たくなる様なすてきなお店ですので皆さんも是非ご利用下さい。お酒のお銚子はついでもついでも無くならない不思議なお銚子でした。きっと養老の滝だったのでしょう。

そんなこんなでいつもの如く楽しいひと時が過ごせました。（本当は良く覚えていない）皆さんお疲れ様でした。

50回記念編に続く

【50回記念編】

ハイキング同好会は平成11年10月31日の第一回大山ハイキングから数えて今回が50回目の節目を迎えることが出来ました。これも代表幹事の磯部さんを

はじめ、皆様の積極的なご参加による賜物と、幹事の一人として心より感謝申し上げます。

普段あまりハイキングに縁のない方も、辛い登りに耐えたり、暑さ寒さに耐えられたのもひとえに皆様が無類の宴会好きだからでしょうか？

思い出も多く、或るときはカメラをなくし（飲む前 コンタックスのカメラ出てこなかった）、電車内で携帯電話をなくし（翌日駅に取りに行った）、店で上着をわすれ（どうしたかな？）、駅のホームに背負ってきたザックをわすれ（取りに戻った 山をなめとるね）、睡魔に勝てず他県まで乗り過ごし（事例が多すぎて詳細書けず）、集合場所を間違えて一人違う駅で待ち（泣いていた）、真冬に靴ごと落ち葉に隠れた池に落ち（人の靴下を借りた 洗って返し新品も贈呈 皆笑ってた）、等々が思い出深い楽しい記憶です。

日々、不況の中で頑張っています皆様の息抜き、発散の場になれば幸いです。歩くことは一番の健康の基と言います。これからも楽しい、八百長無しの企画を用意したいと思いますので、皆様のご参加をお願い致します。